

---

# 始まりの日

Yoi

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

始まりの日

### 【Nコード】

N4096P

### 【作者名】

Yoi

### 【あらすじ】

始まりの日。それは、あたりまえの日常が疑われ、崩れ始める日。国連本部に舞い込んだ一通の手紙。そこにはこう書かれていた。「私たちは今日から、人類を「想像」することをやめることにしました」

拝啓 国連本部様

あの、初めに申し訳ないんですが、全人類宛に何か伝えたい場合には、こちらでよろしかったのでしょうか？私は、地球上のすべての人に伝えたいのです。余す所なくすべての人に。初めは、こちらで把握してる限りのメールアドレスに、同時配信することも考えましたが、それでは届かない人も出てくるでしょう。であれば、誰か人類を代表する人に、送り届けたいと思っただけです。アメリカ大統領も考えましたが、昨今の国際情勢を見させていただいていると、アメリカだけが世界の極ではなくなってきたような気がしてしまいました。では中国かと申しますと、たしかに有望な国ではあるかと思いますが、あの国の国際政治のスタイルを考えるに、私たちのメッセージが本当に、世界の全てに伝わるかと問われると、不安が残ります。そこで、あなた方国連にこのメッセージをたくそうと考えたわけです。国連が、事実上、何の権限もないことは、私たちも良く知っています。いざ戦争が起きたとしても、結局あなた方はモメるばかりで止めることすらできないでしょう。でも、それでもあなた方にこのメッセージをたくそうと私たちは考えました。それは、たとえ形骸的なものであっても、貴方達は平和希求という人類の理念（または高望み）の下に産み落とされた、尊重すべき存在であるからです。

さて、理由ばかりで長々と綴ってしまいました。

#Aと違い、#Zはもとより文章が苦手です。

本題に入りますよう。

私たちは、全人類を「想像」することをやめることにしました。

と言っても、あなたが他の哲学は、このことが何を意味するのか、まだ把握していないでしょう。

噛み砕いて説明しますと、あなたが存在するのは、私が想像するからなのです。私たちが、誰一人、あなたを想像しなくなれば、あなたが存在すると、誰が認識するのでしょうか？

あなたが自分を認識し続ける？それは無意味なことです。ゼロがゼロを見つめ続けても、何の発展もないように。あなたはいわば、存在の特異点に閉じ込められます。それは結局、存在しないのと同じことです。

逆に、私たちがみな、誰か共通のイメージを想像していれば、その存在は、実際に存在するのです。実際にはこうして生み出された存在が、人類社会のあちこちにいます。私たちはもうずっとながいあいだ、こうして、人類の数を増やしてきました。想像をやめれば、消えてしまう人間が、この世界には相当な数存在します。そして、それはあなたかもしれませんし、あなたのご友人かもしれません。

私たちは、人類を想像する鍵を持っています。

私たちは少なくとも、想像をやめれば消えてしまう人類とは異なります。

私たちは、ある特殊な方法で、誰にも存在を知られない状況に陥つても、無事生還できることが分かった人類です。この実験を行うに当たっては、多くの人間がそのまま消滅したと聞いています。生き残った私たちも、その過程で自分の戸籍も、名前も失ってしまいました。

どれほどの人間が消えてしまったのか、その数は定かではありません。彼らがどんな人間だったのか、今では誰も想像できないからです。

私たちはそれから、“想像することをやめる”ための訓練を受けました。

これは、意外と難しいことです。しかし、ある種の自己暗示的な方法を有効に使うことにより、よほど厳しいトラウマでもない限り、取り除くことができます。私たちの会の入会条件は、三親等以内上の親戚のうち誰かを消滅させることです。私も、この能力を手に入るまでは、まさかうちの親戚に消滅してしまうような形だけの人類が混じっていることなど、気が付きませんでした。しかし、実際には可能だったのです。もちろん、彼がどんな人間だったか、私は覚えていません。あとで報告書を見て、そうだったのかと思わされただけのことです。

私これまでの記録を見る限り、この世界の92.8%の人間は、想像されることで存在している人類です。しかし、この数はもつと多いかも知れません、私よりずっと<<想像力>>がたくましい人間がこの会の会員だけでもズラリとおりますから。想像力のある人間はそれだけ、たくさんの人間の存在を支えています。彼らが人類を忘れ始めれば、世界は一気に崩れ始めるでしょう。

さて、ではどうして私たちが、人間を想像することをやめてしまおうと決意したのか。

この能力の存在に気づいた#Aは、人間という存在に絶望したといえます。消えては生まれ、生まれては消えて行く。それなのに、目の前の事柄に固執する。想像上の人間でも、実際の人間でも、その点は変わりません。ですが、彼は違いました。人間を再想像すると決めたのです。彼はそのために、自らを律し、理想的な人間に成るように努力しました。そして、身をもって、人間の理想像を創り上げた段階で、同じような志と能力を持った会員を募ったのです。彼は私たちにも、自らと同じような厳しい戒律を守らせました。私た

ちも、彼の思いに賛同した者たちですから、その厳しい決まりごとを喜んで引き受けました。そして、この日がやって来ました。今日は人間を再想像する始まりの日です。それはすなわち、一度人間を消去することを意味します。想像上の人間を消去するには、いかに訓練を受けた私たちといえども、少し時間がかかります。その間、想像上の人類は少しずつ、消え去っていくことでしょう。再想像の実証実験の結果から計算するに、私たちの会員だけでも、全人類の12.5%を支えています。このメッセージが、まだ自分の能力に気づいていない他の実在の人類に届き、協力してくだされば、この数はもつと増えることでしょう。いずれは全ての人類が置き換わると、私たちは確信しています。

少し、唐突な問いになります。あなたは、あなたがそこに確かに存在していることを、何をもって証明できますか？その、考えなくとも明らかかなように思えたあなたの存在が、ゼロがゼロを見つめるようにそう思い込んでいただけではないと、どうして言えますか。あなたを見つめているその家族は、ご友人は、どうでしょう。思うことをやめれば消え去ってしまうような、儚い存在ではないと、何をもってあなたはいうのでしょうか。例えばあなたが、何か物を作っているとして、そのものが誰かに使われているから、私は存在していると考えるのは間違いです。あなたが作っているものも、実在するとは限りません。例えば、大型の工場では、一日に天文学的な数の製品を作っています。それらの製品は、ベルトコンベアーを右から左に流れていきますが、あれらはそれからどうなっていくのでしょうか？あの先、想像の向こうに消えていつているだけだとは考えにくがそうなのは確かです。想像上の人間の存在など、それほど脆弱なものです。あなたの存在を支えている私たちの想像も、実はそれほど強固なものではないのです。

ただ、あなたがたとえ想像上の人類だったとしても、悲観することはありません。人類は新しい形で想像し直されるだけです。私たちの敬愛する#Aのようによりたくましく、明るく、健康的で、ジョークを欠かさない、社交的な人類に。再想像が終わったら、私たちもまた社会の一員として、優れた人類の間に混じって、恥ずかしくないよう生きて行くつもりです。

最後に。

あなたが、あなたのご友人が、想像上の人類でないと確かめたくても、あなた自身が想像上の人類である場合には不可能です。そうでもなくても、訓練を受けていなければ無理でしょう。ただ、そのための努力をすることは無駄ではないかもしれせん。今、あなたの目の前にいる人が本当に、嘘でなく、存在していることを、あなたは何とかして、証明できますか？たとえそのために、多くの犠牲を払って不断の努力を傾けたとしても、それが、悲劇的な結末に結びつくことは無いでしょう。そのご友人がたとえ想像上の人類だったとしても、あなたにそれに気づくすべは結局ないからです。ただ、努力や犠牲を払った分だけ、あなたはかたくなにその存在を信じ、それを守ろうとするだけでしょう。

すべてが消える存在だとしても、

それでは、さよなら。

#Z



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4096p/>

---

始まりの日

2010年12月10日16時51分発行